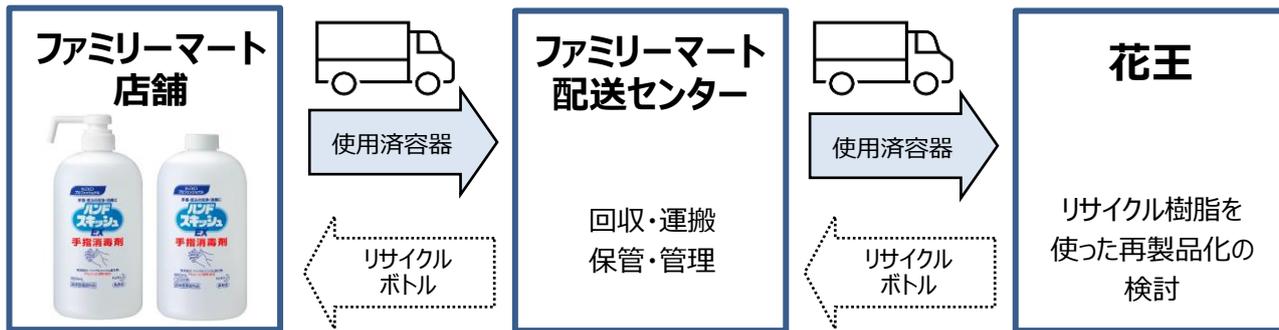


ファミリーマートと花王のグループ会社による共同実施 年間4万本のアルコール消毒液の空容器 リサイクル実現に向けた実証実験を開始

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介、以下「ファミリーマート」）は、花王株式会社のグループ会社である花王プロフェッショナル・サービス株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役社長：小澤正明、以下「花王」）とファミリーマート店舗で使用されたプラスチック容器のリサイクルを促進するため、プラスチック容器の回収・リサイクルによる再製品化の仕組みを構築するための実証実験を、2024年3月13日（水）から神奈川県内の一部約350店舗にて開始いたします。



■リサイクルに向けたプラスチック容器回収を確立し、プラスチックの資源循環を推進

2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」は、事業者から排出されるプラスチック製品の回収、リサイクルの促進を目指しており、プラスチックを資源として循環させる取り組みの重要性が高まっています。ファミリーマートでは、ストアスタッフが仕事に入る前と休憩の後、ホットスナックや中華まんなどの調理・販売の際、アルコール消毒液を使用しており、そのプラスチック容器の数量は、全国で年間約4万本（約2トン）にのびります。

今回実施するプラスチック容器リサイクルの実証実験では、店舗から使用済みプラスチック容器を店舗配送トラックの空きスペースを活用し回収、配送センターにて一時保管後、花王にて再製品化に向けた検討を行います。これらの取り組みにより、店舗回収の簡素化と回収ルートの確立に加え、回収コストの低減に繋がってまいります。

今後、リサイクルならびにボトル to ボトルの仕組みが構築され、ファミリーマート店舗でリサイクルボトルが使用されることで、プラスチックの資源循環をさらに推進してまいります。

■プラスチック容器リサイクル実証実験の概要

目的	2022年4月施行「プラスチック資源循環促進法」にもとづくプラスチックの排出・回収・リサイクルの課題検証
対象品目	花王 ハンドスキッシュ EX アルコール消毒剤 800ml（本体） 花王 ハンドスキッシュ EX アルコール消毒剤 800ml（つけかえ用）

検証項目	①回収における店舗から配送ドライバーへの引渡し・運搬・配送センターにおける保管・管理に関するオペレーションの検証 ②リサイクル、ボトル to ボトル、再製品化に向けた課題抽出
期間	2024年3月13日(水)～2024年5月21日(火) (3か月間)
対象店舗	神奈川県内の一部約 350 店舗

<ご参考>

当社では、2020年2月に環境に関する中長期的目標「ファミマ eco ビジョン 2050」を策定いたしました。持続可能な社会の実現に貢献するため、2030年及び2050年に向けた中長期目標を設定し、「温室効果ガス（CO2 排出量）の削減」、「プラスチック対策」、「食品ロスの削減」の3つのテーマにおいて取り組みを進めております。



■「ファミマ eco ビジョン 2050」の概要

<https://www.family.co.jp/sustainability/ecovision.html>

1. 温室効果ガスの削減：店舗運営に伴う CO2 排出量（1 店舗当たり）

・省エネ型機器の導入により、店舗の電気使用量を抑制し、CO2 排出の削減を進めます。

【数値目標】2030年 50%削減、2050年 100%削減（2013年対比）

2. プラスチック対策：オリジナル商品の環境配慮型包材・容器の使用割合

・容器・包材に植物を原料にしたバイオマスプラスチックや再生 PET を配合するなど、環境配慮型素材の使用を進めます。

【数値目標】2030年 60%、2050年 100%

3. 食品ロスの削減

・商品の発注精度の向上や、現在 9 割以上の店舗で実施している店舗値下システム「ファミマのエコ割」、容器包装の改良等によるロングライフ化を進めることで、食品ロスの削減を推進します。

【数値目標】2030年 50%削減、2050年 80%削減（2018年対比）

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上